

2008年3月17日

## インドにおける子会社の設立について

三菱化学株式会社

三菱化学株式会社（本社：東京都港区、社長：小林 喜光）は、インドにおける三菱化学グループの製品の製造、販売、原料および資材の調達ならびにグループの事業進出の支援を目的とした新会社（会社名：Mitsubishi Chemical India Private Ltd.、以下「新社」）を設立しました。本年3月10日にインド政府から会社設立の認可を受け、4月より営業を開始する予定です。

当社は、西ベンガル州にMCC PTA インディア社を設立し、2000年4月に合成繊維原料である高純度テレフタル酸（PTA）プラントの営業運転を開始、以降、PTA プラントの第2期工事が2008年中に完成予定であるほか、2007年4月には、ハリヤナ州に記録メディア等の販売・マーケティングを目的とするバーベイタム・マーケティング・インディア社（Verbatim Marketing India Pvt. Ltd.）を設立しました。また、本年3月末までに同じくハリヤナ州に主に自動車の内外装の材料として使用されるポリプロピレンコンパウンドの製造・販売会社を設立する予定です。

一方、インドでは、高い経済成長率の中、上記製品の他にも自動車、家電向けを中心とする素材製品の需要が急速にのびており、今後、当社グループの樹脂コンパウンド及び機能商品を中心としたインドで拡大が見込まれる事業を支援する拠点、並びにインドにおけるグループの横通し機能を有する拠点の設立が必要であると判断し、このたびデリー近郊のハリヤナ州グルガオンに新社を設立しました。

また、新社は、当社グループの製品の販売、原料および資材の調達にとどまらず、インドにおける樹脂コンパウンド事業の更なる拡大のため、ラジャスタン州ニムラナ工業団地に用地を確保し、将来的には機能性樹脂、塩ビ、エンジニアリングプラスチックなど、当社グループの樹脂コンパウンド製造拠点となる予定です。

なお、新社の売上高につきましては、新社単体で2012年に約20億円、ラジャスタン州ニムラナ工業団地の当社グループ会社を含めて約100億円を見込んでおります。

※別紙：新会社の概要及び位置図

【本件に関するお問い合わせ先】  
三菱化学株式会社 広報・IR室  
TEL：03-6414-3730

< 新会社の概要及び位置図 >

1. 名 称            Mitsubishi Chemical India Private Ltd.
2. 所在地           本社            : ハリヤナ州グルガオン  
工場予定地 : ラジャスタン州ニムラナ
3. 設 立            2008 年 3 月
4. 営業開始        2008 年 4 月    ( 予定 )
5. 業務内容        当社製品の販売・物流・業務受託、各種樹脂コンパウンドの製造・販売
6. 資本金           6,000 万ルピー (約 1.8 億円)
7. 出資者           三菱化学株 : 95%、(株)ロンビック※ : 5%  
※樹脂コンパウンドの製造会社 (当社 100%出資)。
8. 売上高           100 億円 (当社グループ連結、2012 年度予定)
9. 位置図



以上